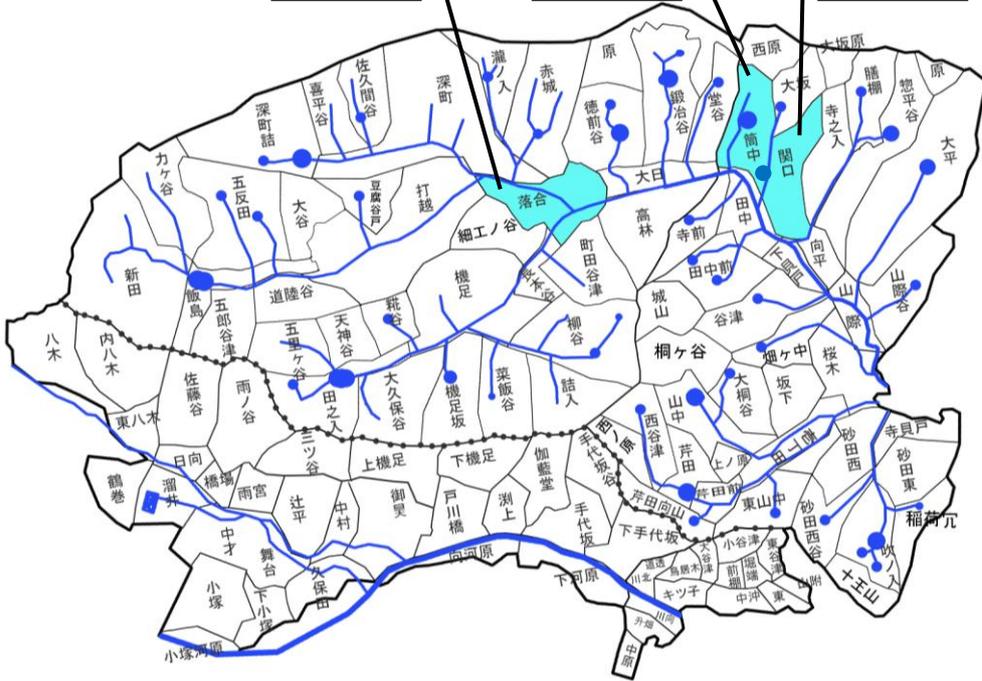




落合

筒中

関口



黒岩探訪

たんぼう

39

KUROIWA
くろいわ

黒岩の「小字」名
「川・用水」名 3

黒岩探訪26号で示したように黒岩には、全部で75の小字名があります。これを次のようにグループ分けしました。「谷津」「田」「畑」「山」「川・用水」「坂道」「寺社等」です。そして、黒岩探訪29号で「谷津」「田」、同38号で「寺社等」に関わる十王山を取り上げました。今回は、「川・用水」に関すると思われる小字を取り上げます。

最初に「関口」です。これは「堰口」に由来するものかと思われ、その「堰」は水をせき止める施設です。星川沿いのどこかに堰があったかもしれないと仮定して、周辺の地形を眺めてみましたが、形跡を感じることはできませんでした。他の可能性として、「堤」の意味で谷津からの水をせき止めた所とも考えられますが、堤はたくさんありますので、有力ではありません。字の意味からは「関所」ですが、関所のようなものがあつたとは思えにくく、意味合いがあてはまるような気がしません。次に「筒中」です。読み方は、「つつじゅう」でしょうか？

この話題になった時にある方が、「先輩者が『つつじゅうんちに行つてくる。』と言って出掛けた家にツツジがないのに何でそう言うのか不思議だった。もとは『つつじゅう』だったのか。」と納得されました。今はあまり使われなくなつた小字名なのだと思います。さて、「筒中」です。地域の方からいただいた資料の中に「筒中・水」に関する土地、谷間の湿地帯の中「井戸」を連想することのできると思いません。はつきりしたことは分かりませんが、いづれにしても水に関係する地名のようです。最後に「落合」です。全国的にもよくある地名のようです。意味は共通しており、「川と川が落ち合う所」「水が合流する所」です。「落合」の西端で深町詰と新田から流れ出した星川が一旦合流します。そして、その星川と機足上流からの川が「落合」のほぼ中央で合流しています。



←写真は、今の落合の様子。グーグルマップより。